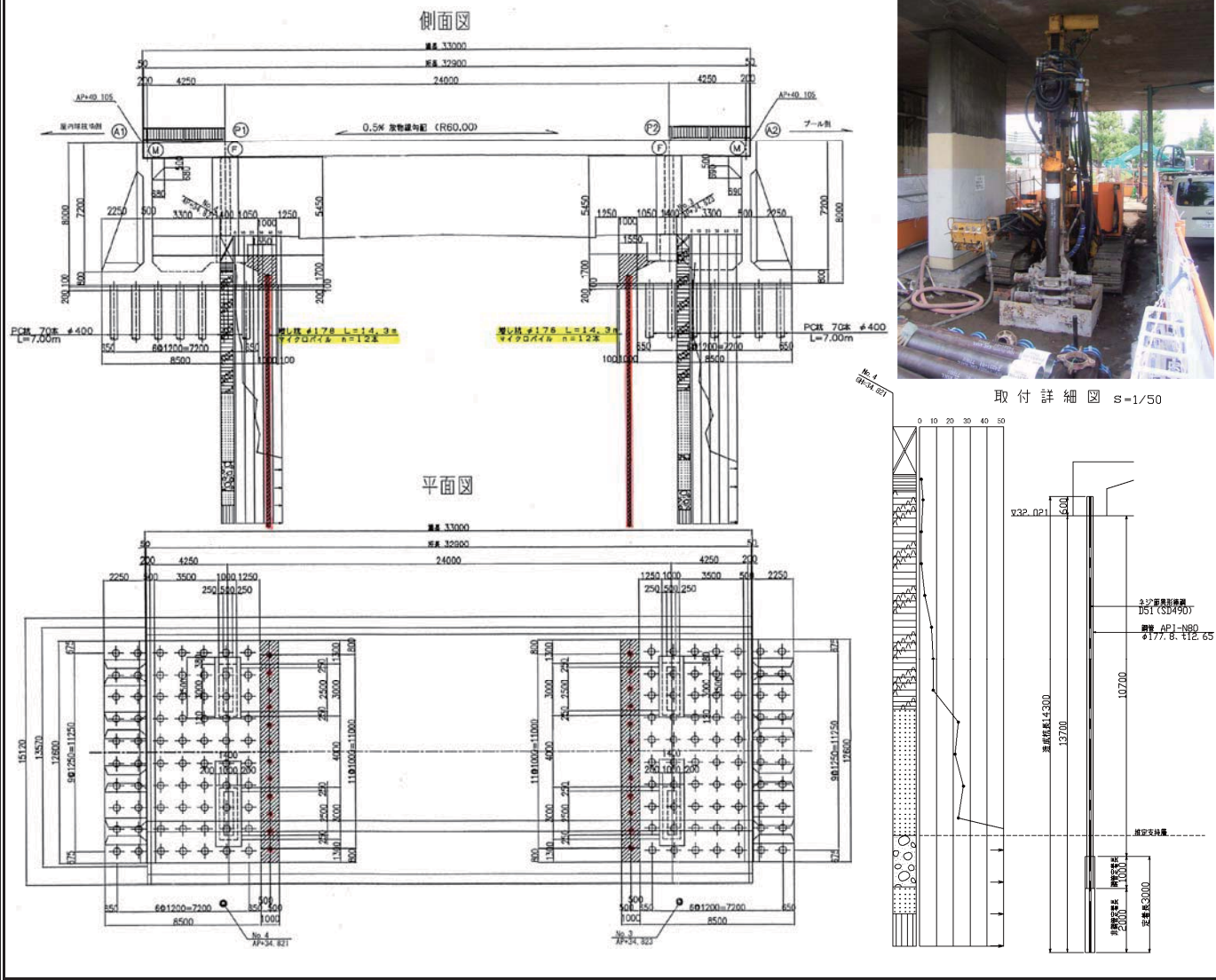


用途	歩道橋の橋脚耐震補強
工事名	駒沢オリンピック公園 橋耐震補強工事(その2)
工事場所	東京都世田谷区駒沢公園地内
発注者	東京都東部公園緑地事務所
施工時期	平成19年8月～平成20年1月
杭形状	P1:直杭 14.3m×12本 P2:直杭 14.3m×12本
杭延長	343.2m
鋼管仕様	API N-80 φ177.8×12.65t
標準鋼管長	1.5m
鉄筋仕様	SD490 D51
標準鉄筋長	2.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式
削孔機	クローラタイプ(MKD-106)ショートブーム
空頭制限	4.2m(床掘り0.3mで実質4.5m)
上層地盤	粘土・砂
定着地盤	砂礫・砂・泥岩

工事の特長

- ・本橋梁は、駒沢オリンピック公園内の歩道橋で、交通量の多い駒沢通りに架かるオーバブリッジである。
- ・既存交通(車両および人)を確保した上、空頭制限4.5mで施工可能な既設橋脚の耐震補強工法として、高耐久マイクロパイルが採用された。
- ・プラントはP2側に組立て、P1施工時には、橋面上に配管を行って泥水やグラウトを圧送した。
- ・橋面上配管の破損等による飛散防止対策として、ホース類をブルーシートでくるみ養生を行った。
- ・駒沢通りは上下線が中央分離帯で仕切られており、交通量も多いため、橋脚間の移動には運搬車両を使用した。
- ・施工スピードは、1.5本/日(残業2時間)程度であった。

概要図



施工状況写真



駒沢オリンピック公園案内図



着工前



プラント(P2側)



配管組立状況



配管シート養生

施工状況写真



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



杭頭清掃前



杭頭清掃状況



完成